

事業番号	09 04 06	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	S61 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	①付加価値を高め、経済成長を実現				
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成		2-2 地域内経済循環の促進		2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進

1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 本県の畜産は、従事者の高齢化が進み、農家数、家畜飼養頭羽数とも減少傾向となっている。一方で補助事業等を活用して規模拡大に取り組む農家も増えつつある。 経営面では、生産物価格は堅調に推移しているものの、家畜導入費の高騰・飼料価格の高止まり等が収益に影響を及ぼしていることから、経営規模の拡大による効率化や自給飼料生産を推進し、生産性を向上させ収益性を高める必要がある。 	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 畜産特別資金等への利子補給、肉用子牛の価格変動に的確に対応したセーフティーネットの運用等により安定した畜産経営を実現する。 畜舎等の施設整備への支援、自給飼料増産の推進により、畜産経営の収益性を向上させる。 ICT機器を活用した飼養管理や繁殖管理改善による生産性の向上を図るとともに、DNA評価等の新技術を活用した家畜の改良を進め、品質の高い畜産物の生産できる生産基盤を強化する。 	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 規模拡大や従事者の不足に対応するため、家畜の飼養管理の労働時間の削減が必要。 地域の関係者が連携し、地域ぐるみで畜産の収益性の向上やコスト削減等を進めることが必要。 消費者が安全・安心を共感できる、持続可能な生産・流通体制づくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> AIやIoT等を活用した「スマート畜産技術」を推進し、労働生産性の向上を図る。 畜産クラスターの形成を促進するとともに、中心的な経営体の施設整備等の取組を支援。 農場等におけるHACCPの導入やバイオセキュリティ対策の徹底を図るとともに、信州プレミアム牛肉をはじめとした県産畜産物のブランド力を向上させる。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> 本県畜産の生産性と収益力を向上 生産性を向上させるスマート畜産の普及 飼養頭数増加等収益性向上のための施設整備を支援 個性ある高品質な畜産物のブランド力の向上 信州プレミアム牛肉など高品質な牛づくりの推進 畜産試験場から県オリジナル地鶏のヒナの供給 消費者に信頼される安全・安心な生産体制の確立 農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施 	<p>持続可能な収益性の高い魅力ある畜産経営の確立</p>
	DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの果づくりに資する取組	<p>【DX】ICTを活用したスマート畜産技術の推進による省力化と生産性向上</p> <p>【ゼロカーボン】輸入飼料に頼らない国産飼料の拡大</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)				
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度	R3年度	R4年度	
1	信州プレミアム牛肉の認定頭数	頭	3,818	↑	4,336	↓	4,000	3,800	前年度繰越	291,375	90,131	
2	畜産農家(乳用牛)1戸当たり飼養頭数	頭	49.2	↑	51.4	↑	51.9	52.8	当初予算	161,476	46,809	要求 241,040 予算案
3	畜産農家(肉用牛)1戸当たり飼養頭数	頭	51.4	↑	54.9	↑	57.1	59.0	補正予算	-23,218		
4	乳用牛1頭当たり生産乳量	kg	8,956	↓	8,834	↑	9,000	9,000	合計(A)	429,633	136,940	要求 241,040 予算案
5									うち一般財源	16,748	14,044	要求 14,609 予算案
									決算額(B)	315,626		
									職員数(人)	14.19	13.67	13.67
設定理由	成果指標	1.信州プレミアム牛肉のブランド確立と流通拡大を行うために設定 2.乳用牛の飼養戸数減少に伴い生乳生産量が減少する中、規模拡大により生産基盤を強化するために設定 3.肉用牛の飼養戸数の減少で子牛の価格高騰につながっているため、規模拡大により生産基盤を強化するために設定 4.乳用牛の乳量実績と産乳能力の向上を図るために設定										
	目標値	1.第3期食と農業農村振興計画におけるR4年度(最終年度)の目標値に基づき設定 2.酪農経営では後継牛確保や和子牛生産の拡大による収益性向上が求められており、長野県酪農・肉用牛生産近代化計画において、R1年度からR12年度までに10.9頭増加させることが長期目標。そのためR4年度は前年比0.9頭増を目標とする 3.肉用牛経営では、一貫生産等の飼養形態による規模拡大が求められており、長野県酪農・肉用牛生産近代化計画において、R1年度からR12年度までに22.9頭増加させることが長期目標。そのためR4年度は前年比1.9頭増を目標とする 4.過去10年の乳牛の生乳生産状況を踏まえ、令和2年度比+166kgとして設定										

事業番号 09 04 06 **事業改善シート (令和4年度実施事業分)** ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検

事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
1	農業制度資金利子補給等事業		899 千円	839 千円	要求 予算案 669 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	畜産特別資金利子補給事業	補助金	畜特資金等借入農家の負担軽減のため利子補給及び経営改善指導を実施する。		

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
2	地域畜産対策事業		101,176 千円	1,986 千円	要求 予算案 199,360 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	自給飼料推進事業	直接	自給飼料増産を推進するため、優良品種の導入及び自給飼料の成分分析等により良質な自給飼料の生産拡大を推進		
2	畜産振興施設の整備	補助金	畜産経営の規模拡大、収益性向上のための施設整備(搾乳施設、堆肥舎等)を支援する。		

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
3	畜産物流通安定対策事業		2,342 千円	2,837 千円	要求 予算案 2,884 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	肉用子牛価格差補てん金の造成	補助金	肉用子牛の価格下落時に交付する価格差補てん金(肉用子牛生産者補給金)の財源となる積立金の造成を補助する。		

細事業 No.	細事業名		R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
4	食肉流通対策事業		393 千円	282 千円	要求 予算案 521 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	食肉施設運営主体による整備計画作成の支援	直接	食肉流通関係事業者に対し、事業者間の連携・補完についての話し合いを促すとともに、施設運営主体が今後実施する整備計画づくりに対する支援を行う。		

事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
5	乳用牛対策事業	6,324 千円	6,324 千円	要求 予算案 6,458 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	牛群検定データの分析及び情報提供	直接	乳量・乳質の向上を図るため、牛群検定情報の分析加工と情報提供を行う。	
2	牛群ドックの実施	直接	牛の健康状態を数値で把握して生産性を向上させるため、血液生化学検査、飼料成分分析を実施する。	

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算
6	家畜振興対策事業	38,704 千円	34,274 千円	要求 予算案 31,148 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)	
1	バルク乳全戸検査による乳質の向上	直接	バルク乳を用いて細菌検査及び牛ウイルス性下痢症検査を実施し、搾乳衛生の改善と伝染性疾病の防除を図る。	
2	体外受精卵の生産と供給	直接	優良種畜を確保し生産基盤を強化するため、体外受精卵移植技術を活用して受精卵の生産と供給を実施する。	
3	種畜検査の実施	直接	家畜改良増殖法に基づき、優良な雄の家畜を確保するための検査を実施する。	
4	農場の衛生検査	直接	長野県産牛肉の生産及び消費の拡大のため、農場における衛生管理状況の確認及び食中毒原因菌の衛生検査を実施する。	
5	長野県オリジナル地鶏の生産体制の整備	直接	長野県畜産試験場で開発した「信州黄金シャモ」及び「長交鶏3号」の素ヒナの供給を実施し、こだわりある地鶏の生産振興を図る。	
6	肉用牛の改良増殖	直接	ゲノミック評価等を活用した種畜の作出に取組むとともに、効率的な肥育素牛の増産体制を実証し、こだわり牛肉づくりのための基盤を強化する。	
7	スマート畜産の普及推進	直接	畜産現場の省力化と生産性向上のため、牛群管理システムや分娩監視システム等のスマート畜産技術のお試し導入制度により、導入を加速化させる。	
8	高収益型養豚経営の確立	直接	養豚場の課題を把握し、各農場の繁殖成績を向上させるための指導等を実施する。	
9	めん羊等中型家畜の生産・利用推進	直接	特徴ある畜産の振興を図るため、畜産試験場における中型家畜生産・利用体制を整備する。	